

岡山労働局発表
令和4年10月27日

担	岡山労働局 労働基準部 監督課長 森 健太 過重労働特別監督監理官 貞宗 恵治 電話 086 (225) 2015
当	夜間 086 (238) 6215

長時間労働削減に積極的に取り組むベストプラクティス企業を労働局長・運輸支局長が合同で訪問します

～ 合同訪問は中・四国初！～

厚生労働省では、過労死等を防止することの重要性について、国民の皆さまの関心と理解を深めるため、11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、周知・啓発の取組などを行っています。

岡山労働局では、同月間の一環として実施している「過重労働解消キャンペーン」の取組の一つとして、2024年4月の上限規制の適用に向けて、働きやすい職場づくりや長時間労働削減に積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」へ訪問します。

今年度は、岡山労働局長と岡山運輸支局長が合同で次の企業を訪問します（合同での訪問は、中四国で初めてとなります）。

この企業の取組を広く周知したいと考えておりますので、報道機関の皆様方におかれましては、積極的に取材いただければ幸いです。（取材にあたっては、別紙をご覧ください。）

訪問先： 鶴信運輸株式会社（かくしんうんゆ）
岡山市中区倉富 394 番地
労働者数 123 名
業種 運輸交通業

日 時：令和4年11月21日（月）午前10時から（所要時間1時間30分程度）

○鶴信運輸株式会社の長時間労働削減にむけた主な取組

- ① スワップボディコンテナ車両*（スワップ車両）による中継輸送を行うことで、宿泊を伴う運行から、日帰りの運行が可能に。
運転手以外がコンテナの切替作業を行い、運転手の労働時間を短縮。
- ② 年次有給休暇の取得に努め、取得率が向上
（2021年の取得率 52%）
- ③ 健康経営に積極的に取り組み、休憩室に酸素カプセル等の健康器具の設置。令和2年に「働きやすい職場認証」（職場環境良好度）を取得。

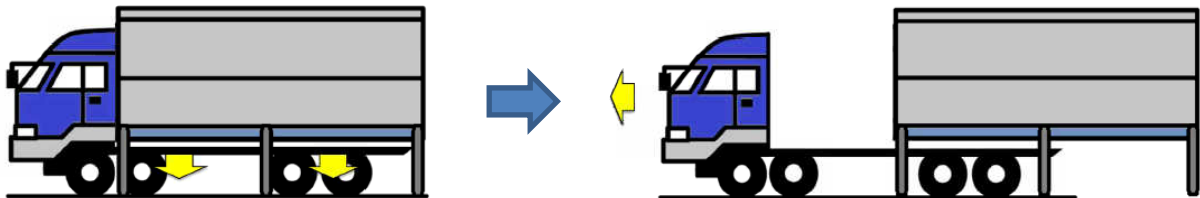
※スワップボディコンテナ車両

車体と荷台を分離でき、分離中に荷役作業が可能

→ 輸送業務と荷役作業を分離することにより、荷待ち時間の削減、
物流の生産性向上につながり、働き方改革に貢献

(参考)

スワップボディコンテナ車両



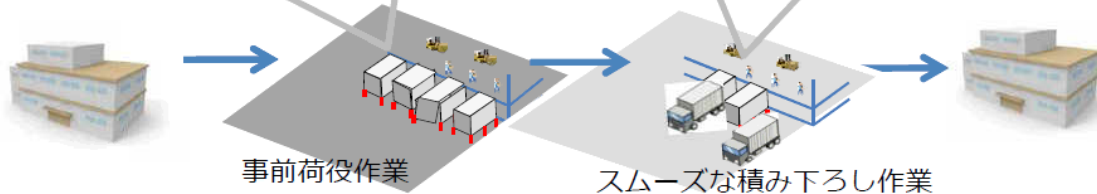
<スワップボディコンテナ車両の特長>

- 車体と荷台を簡単に分離することが可能 → 荷待ち時間削減、積載率向上
- けん引免許が不要 → ドライバー不足を解消

【活用例①：物流施設での活用】

トラック到着前から荷役が始められ、トラック到着までにコンテナを一杯にでき、**積載率が向上し、トラック台数を削減**

トラックは到着後、荷台を付け替えるだけで出発でき、荷役作業による**荷待ち時間を削減**

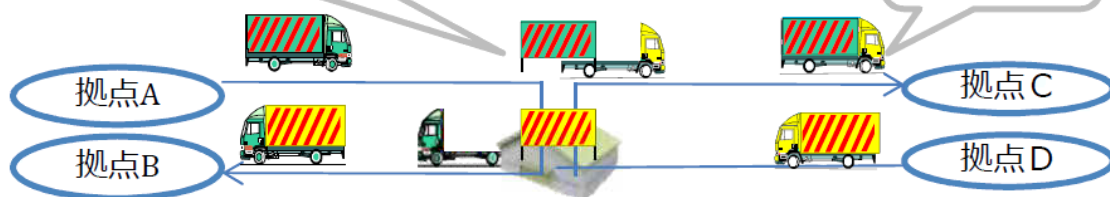


【活用例②：中継輸送での活用】

帰り荷の確保により**積載率が倍増し、トラック台数を削減**

中継拠点で荷台を交換

日帰りでの勤務が可能となり、**労働環境が改善**



【資料出典】

国土交通省：スワップボディコンテナ車両利活用促進に向けたガイドライン

(平成 31 年 3 月策定) <https://www.mlit.go.jp/common/001281707.pdf>

「岡山労働局長によるベストプラクティス企業への職場訪問」への
取材にあたって

取材を希望される場合は、前日までに次の担当まで電話等でご連絡いただければ幸いです。

(担当者：岡山労働局労働基準部監督課 貞宗・笠原 086-225-2015)

(1) 9時50分(開始10分前)までに鶴信運輸株式会社(岡山市中区倉富394)へお越しください。

(2) 事務所前に駐車場がありますので、そちらをご使用ください。

(3) 当日タイムテーブル(予定)

10時 成毛局長から挨拶

陰地社長から説明

事業場視察の後、従業員との意見交換

出口運輸支局長から所感

11時30分頃 終了

終了後、ぶら下がり取材可

(4) 取材にあたってのご注意

- ・ カメラ撮影は可能です。
- ・ 体調不良の方の参加はご遠慮ください。取材される方はマスク着用し、事務所入口で検温、アルコール消毒をお願いいたします。
- ・ 会社内では、鶴信運輸(株)社員、労働局職員の案内に従って行動願います。

鶴信運輸株式会社

所在地：岡山県中区倉富 394

